

リードタイム短縮と 在庫低減対策セミナー

～ 顧客の要求する納期を満足する最適在庫の追究 ～

開催日時

2024年 7月 9日(火)
2025年 3月 14日(金)

東京会場

東京会場

各回とも

10:00～17:00

会場

日本能率協会 研修室
(東京・港区・芝公園)

対象

- ・生産管理部門、在庫管理部門、製造部門、物流部門の管理者、スタッフ
- ・サプライチェーンの改善、リードタイム短縮、在庫低減などを推進している方々
- ・生産技術・製造技術、技術企画部門の管理者
- ・ものづくり推進部門の管理者、スタッフ

講師

小川 正樹 氏

JMA専任講師

(株)MEマネジメントサービス

代表取締役 マネジメントコンサルタント・技術士(経営工学)

参加料(税込)

法人会員：57,200円/1名

会員外：69,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

需給の激しい変化、材料価格の高騰など、ものづくりの環境は厳しさを増しています。在庫を活用することは、需給変化に対応する一つの手段ですが、ムダな在庫は資金繰りを悪化させ、経営を圧迫する存在になってしまいます。顧客の要求する納期を満足しながら在庫を削減するには、「最適な在庫量の設定とリードタイム短縮」を改善と管理から展開する必要があります。

本セミナーでは、顧客の要求する納期を満足させる在庫ポイントの設定、需要量やリードタイムのばらつきに対応した在庫量の設定方法、発注費用と在庫費用が最も少ない発注量の設定、仕掛在庫を活用した生産計画の作成などを中心に講義と演習、実践例から学んでいただきます。

本セミナーのポイント

- ① リードタイム短縮・在庫低減の改善と管理からのアプローチを習得します。
- ② 顧客の要求する納期を考慮した在庫の設定ポイントが明確になります。
- ③ 需要量、リードタイムのばらつきに対応する在庫量の設定を習得します。
- ④ 発注費用と在庫費用を最小にする発注量の設定を習得します。
- ⑤ 在庫の生産計画への活用ポイントを明確にします。

※持ち物 … パソコン (Excel2007以降のバージョンがインストールされているもの)をお持ちください。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

① ものづくりと生産・在庫管理

- (1) サプライチェーンの変化と顧客要求の多様化
- (2) 顧客要求に対応する生産・在庫管理とは
- (3) リードタイムと在庫からみた企業の基本戦略

② リードタイム短縮・在庫低減の可能性分析と対応策

- (1) リードタイム短縮・在庫低減のための改善と管理
- (2) リードタイム短縮・在庫低減計画の作成
 - ・顧客の要求する納期と製造リードタイムの分析
 - ・在庫品の評価方法
 - ・顧客の要求する納期を満たす在庫ポイントの設定
 - ・製品在庫、仕掛在庫、部品在庫の低減策
- (3) 改善によるリードタイム短縮・在庫低減のポイント
 - ・在庫低減に向く生産方式
 - ・標準化による在庫低減事例

演習 在庫を持つ長所と短所は何か

③ 在庫の分類と在庫管理方式

- (1) 生産方式の特徴と生産・在庫管理
- (2) 発注量を変動させる定期発注方式による在庫管理
 - ・需要の変動を考慮した安全在庫の設定方法
 - ・需要の変動とリードタイムの変動を考慮した安全在庫の設定方法
- 演習 欠品を起こさない最適な安全在庫量の設定
- (3) 発注量を固定する定量発注方式による在庫管理
 - ・欠品を起こさない発注点の求め方
 - ・最も得になる買い方
 - ・環境変化に対応する不定期・不定量のハイブリッド発注方式
- 演習 最も得になる発注量の設定
- (4) 在庫管理システムによる維持管理

④ 生産計画によるリードタイム短縮と在庫活用

- (1) 在庫情報と計画情報の連動
- (2) 生産計画とコスト的にメリットのある負荷調整
- (3) ネック工程に在庫を活用する生産計画の立て方

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

